

○活動日誌（2003年）

12月21日（日）

新年に送る議会報告の原稿を作成。A4サイズ1枚におさめようとすると、伝えたいことがいっぱい苦勞する。しかし、自家印刷を行おうとするとA4が限界。後の情報をHP上にアップできるように準備をしなければならない。

12月19日（金）

議会最終日。全議案の採決が行われた。議会終了後、盆栽議員連盟の発会にあたる初総会が開かれた。議連にも色々なものがあるが、私はこの盆栽議連には大いに期待する。議員がまず勉強をし、理解を深めることで、さいたま市の盆栽文化を内外に発信できる環境を作りたい。

12月16日（火）

委員会2日目。午後からは合併問題に関して、執行部側から全議員への説明会が行われた。何も新しいものは出てこない。最後にこれから議会の役割が試されているのだから、全議員協議会を作って話し合いの場を重ねていこうということで一致した。

12月15日（月）

委員会審査1日目。68歳・69歳を対象とした老人医療費補助の条例改正については、最終的に賛成したが、今回のパブリックコメントのあり方には疑問を感じる。対象者にインターネットを使える人が少ない中で、HPに掲載したのみというのでは、コメントを求めるのにふさわしい環境とは言えない。これからせつかくのこの制度の信頼性が揺らがないような運営を心がけてほしいものだと思う。

12月11日（木）

本日午後、一般質問を行った。午前中の高柳議員の質問への答弁で、区民会議の役割がはっきり答えられていたが、それに照らすと、今回の合併問題のアンケートを区民会議に諮るといのはやはり間違っている。その点を急遽盛り込んだ原稿に差し替えて質問した。

答弁を聞いていると、市長の言う「市民との協働」とは何なのだろうと思ってしまう。どうしてそんなに住民投票をいやがり、市民

を近づけない形で物事を進めようとするのか。

今回の市民意向調査の方法には疑問を感じている議員が多い。議会としてその役割を発揮して、できることをしなければならない。

12月10日（水）

一般質問3日め。来年からは「政令市にふさわしい議会運営」の名の下に、一般質問が1年間を通じて4日間しか行われなくなるが、やはりおかしいと思う。それぞれの議員にどんなテーマでも良いから10分間の質問が許されているというこの仕組みの意義は大きい。本日の日下部伸三議員の質問は、岩槻合併問題に絡んで、私と全く逆の立場から住民投票について問うものであったが、これかの立場が様々議会の場で戦わされることに私は大いに意味があると思う。

夜は氷川神社の十日町に。心なしか実際に買ったくま手を手にしている人の数が少ない気がしたが、やはり景気の影響は大きいのであろう。浦和が12日町だから与野が11日町だったりして？と思ったら、本当にそうだと中央区出身の議員さんに教えていただいた。

12月8日（月）

一般質問の初日。といっても、12月は「代表的質問」とやらで、5人以上メンバーのいる交渉会派から質問が始まる。私も質問することになる岩槻合併についても、各会派から質問が出た。これらの答えを踏まえて質問は最後まで練ることにしよう。

12月7日（日）

浦和ロイヤルパインズホテルにて行われた長谷川議長の就任を祝う会に出席。後援会の皆さんが本当に嬉しそうだった。まだゆっくりお話をする機会には出会っていないが、温なお人柄との印象である。私は初めての議会で他の議長さんの仕切りを経験していないのでわからないが、強引な方が議長であるのと、温和な方が議長なのでは全く議事進行が違ってくることであろう。これから、地方の時代。力ある議会にする為にがんばっていただきたい。

12月6日（土）

夜、地元宮原青年クラブの忘年会に出席。OBの皆さんとも初めてゆっくりお会いできる機会であった。これからは今まで以上に「地域」が大切な時代に入っていこう。その為には、どれだけ一人一人が地域のためにどれだけのことのできるかが重要になっていく

であろう。

12月5日（金）

午後、岩槻合併問題に関して特別委員会が開かれ、参考人として6名の有識者から意見を伺う。やはりこの合併は賛否両論である。特に、何の為の合併かをはっきりさせることが重要という意見や、住民への情報提供とその意思を尊重すべきとのプロセス重視、コミュニティの一体化をどう図るかが重要、などの意見に私は注目したい。夜は党支部役員会に出席。今回の総選挙の総括とこれからの活動について協議。

12月4日（木）

さいたま市と上尾市の市境をまたぐ問題について話し合いを持つ場として、市境議員の会がある。お隣上尾市のメンバーが選挙のまっただ中ということで、さいたま市側の議員で陣中見舞いに行く。道中、車の中でこれからの議会の一般質問の話や岩槻合併の話などにつき、意見交換を行う。

12月3日（水）

12月定例会初日。3回目の定例会で、ずいぶん慣れた。いやそれでも、今回の決算特別委員会の討論採決は初体験で、やはり驚いてしまった。決算という、一年の市の活動まるごとを振り返ることになる訳だから、その総括に時間がかかるのは言われてみれば当然だ。自分が委員であった特別会計の決算特委の内容は流石によくわかるのだが、委員でなかった一般会計の方は改めて頂く報告が多々あった。決算を大切に、事務事業評価なども連動させながら翌年の予算にその結論を反映させていく、そういう循環が重要であろう。

12月2日（火）

終日質問準備。学童保育のこと、LD児の教育支援を含めた教育システムのこと、保育所のこと、介護保険のこと、公共施設の高度利用のこと等々、様々聞きたいことはあるのだが、今回は住民投票一点に絞ることにする。

11月30日（日）

午前中、通学路問題について陳情を受ける。午後は上尾の市議選に陣中見舞いにでかける。市民の関心が十分喚起される良い選挙にな

ることを望む。

11月29日（土）

プロジェクトミーティングを開催。議会動向の他、岩槻との合併問題などを中心に報告を行う。今回は葉書やHPによる案内ができぬままの開催となってしまったが、前回の出席者を中心に雨の中会場まで足を運んで下さった方々により、活発なご意見をいただいた。私は岩槻との合併問題では、住民投票は必要不可欠であるという立場を一貫して取ってきたが、4月以来のその主張も虚しく、市はこのところに来て、区民会議による意見聴取のみで合併に一気に結論を出しそうな動きになってきてしまっている。市がやらぬなら、何らかの形で議員として市民に何とか合併に関する情報を伝え、直接の声を集めなければと思って他党派の議員さんにも呼びかけてみているが、実際はというと難しい。会場からは「難しいとか言っている場合ではない、とにかく住民投票をやるのだという勢いで議会でやってほしい」との声をいただいた。その通りである。少数会派であろうが何であろうが、議会の論理に飲み込まれることなく、原点の市民の声を届けることにエネルギーを爆発させなければならない。改めてその思いを強くした。

8月6日（水）晴れ

終日、発送作業。

8月5日（火）くもり後雷雨

午前中、北区役所にて北区選出議員と区長をはじめ区役所職員と意見交換会議。午後から市政レポートの発送作業にボランティアの皆さんのお手伝いをいただく。

8月4日（月）晴れ

箱根における党全国研修会二日目。NPOと市町村のパートナーシップに関する講義、市町村合併に関する講義と並び、マニフェストに関してつっこんだ議論が行われた。マニフェストはこれからの国政選挙と自治体の首長選挙を大きく変えていく存在になることを実感。しかし、政権公約と訳されるマニフェストが、財源・期限・手法をパッケージにした政策提言で、これまでの公約とどう違うのかという点につき、広く市民にわかっている形を作ることは容易ではなさそうだ。しかし、たとえ時間がかかろうとも、しっかりととした中身であれば、自然と説明抜きでも市民が何かを感じるは

ずである。どんな政治をどんな方法と財源とスケジュールでやっていくのか、選ぶ権利は、常に納税者にあるべきである。

8月3日（日）晴れ

箱根で開催の民主党全国研修会に参加。分権と地方財政改革につき神野直彦教授、三重県政の改革と題した前知事・北川正恭氏にそれぞれ講演をいただく。いずれも刺激的な内容であった。神野教授からは、世界的に重化学工業社会から知的集約産業社会へのパラダイム転換が起きていること、その中では、効率優先ではなく、「人の暮らし」を包括できる「ほどよいまち」がいくつも集まる日本を作っていくべきではないか、そして、その為にはいかに地方分権が必要かというお話をいただいた。日本では、この包括的に人間の生活を支えるコミュニティが崩壊してしまっている。効率優先の街づくりは、地域から商店街を消してしまい、遠くの大規模ショッピングセンターまで出かけていかなければならず、高齢者や子供たちに暮らしにくい町並みを作ってしまった。まず、この発想の起点を「転換」させることが重要だということを感じた。北川前知事のお話にも、「パラダイム転換」を認識し、そこに起点を置くことの重要性を感じた。北川前知事の三重県政改革は、まず「生活者起点の県政」（県民の皆様がご満足いただける県政）にビジョンの根幹を置くところからスタートさせたという。意識が変われば、そして目指すものがはっきりしていれば、物事は加速度的に変わっていく。重要なのはどこに軸足をしっかり据えるかということである。さいたま市にも、このパラダイム転換を意識したビジョンこそが必要ではないか。

8月2日（土）晴れ

午前、陳情者との意見交換。午後、枝野幸男オープンミーティングに参加。オープンミーティングにはいつにも増して参加者が多く、「特殊法人改革」のテーマもさることながら、有権者の皆さんに民由合併話や知事選、今秋かとも言われる総選挙などへの関心が高いことを感じた。夜は今羽町の集合住宅のお祭りに参加。通学路問題などについて住民の皆さんの意見を伺う。一日夏らしいジリジリとした暑さ。大宮駅前には祭り一色。町内の御神輿や町名入りのハッピー姿が行き交うのを見ながら、祭りは人々を一つに結ぶと改めて思った。地域コミュニティの再生が必要な現代、祭りのコミュニティにおける機能を、改めて思った。

8月1日（金）晴れ

日記を一ヶ月以上さぼってしまった。活動していなかったかとい

うと、全くそうではない。言い訳はできないが、とにかく忙しかった。しかし、忙しくても活動報告は責務である。本日から再開。心してかかることにする。忙しさの中で遅れたものがもう一つ、市政レポート。今日、自家製印刷をした。一人では本当に作業が進まないことを痛感し、お手伝いを皆さんにお願いしなければと思う。日記をチェックして下さっていた方、市政レポートを待っていて下さった方、心よりお詫び申し上げます、今後精進することをお誓い申し上げます。

6月11日（水）くもり

6月定例会初日。議会としては、5月の臨時議会があったので2度であるが、やはりまだ慣れないので、原稿をひたすら読み上げる議事進行のスピードについていくのはなかなか大変である。そして、今回は定例会なので「初質問」もある。今回の質問者は27人。午後、順番を決めるくじ引きがあり、私の質問は21番目で19日（木）に決まった。順番が決まると部屋を移動して、質問内容を役所側の人に説明する段取りだという。所謂「質問取り」の世界である。なんと各部屋にそれぞれ40人～50人の職員が詰めかけている。各部署から出ているのだろうが、その人数に驚いた。新人には見るもの聞くもの、全て学習対象なので、とにかく大変だ。最初から全ジャンルをきちんと把握するのは無理とわかっているけど、どうしても「この機会に」の思いが強くなり、自分の質問の準備だけに専念できず苦笑。とにかく一步一步である。

6月10日（火）くもり

一日質問の準備。さいたま市のHPに会議録がアップされているのは、大変便利である。過去のやりとりを細かく読み込みながら、どのジャンルをどの角度で攻めようかと悪戦苦闘の一日。

6月9日（月）はれ

今回、私が取り組みたいと思っている課題に「費用弁償の廃止」がある。今日は、この件に同じく取り組みたいという議員さんと意見交換を行った。具体的なプログラムにしていこうということで一致。道のりは遠いかもしれないが結果を出していけるのではないかという期待感が出てきた。パフォーマンスにはしたくない。あくまで本筋論でおかしいことをおかしいと言うまでのことである。夜は党県連の委員会に出席。今年度は「子育て支援」を中心に進めることになった。勉強の機会が広がるのはありがたいことである。

6月8日（日）はれ

午後「都市づくりの会・さいたま」さんの勉強会に出席。講師と
のことであったが、参加メンバーの皆さんが NPO の活動に深く関わ
っている方々であり、厳しいご指摘を多々いただいた。私自身こ
れから NPO の果たす役割は本当に大きなものになっていくと思っ
ているし、また行政もコーディネート力をつけ、NPO との協働が当
たり前の形になっていく日がそう遠からずやってくると思っている。
しかし、まだ過渡期であり、行政としても NPO がどういったものか、
肌でわからない、或いはわかっていてもどう連携を取ったらいいの
かわからないという側面が大きいのではないかと思う。今回の勉強
会では、意見交換をさせていただく中で、これらの入り口に風穴を
開けることから始めなければいけないということ強く感じた。

6月7日（土）くもり

今日は宮原中学校体育祭。自分が中学生だった頃、なぜ「来賓」
というのがやってくるのか全く不可解だったことを思い出しなが
ら、「来賓」として校庭に向かう。やはり、体育祭はいい！妙にワクワ
クしてくる。クラスごとの応援看板が作成されていたりして、気持
ちの中は応援モードでいっぱいになる。それにしても、宮原中の
校庭は狭い。生徒数に比べ、狭すぎる。ラジオ体操をしようと広が
ると、十分には広がれないほどだ。これからも人口増加が見込ま
れる地域だけに、真剣にマンモス校対策をしなければならないと痛切
に感じた。「来賓」で行った意味はあったかもしれない。今度の議
会で質問しよう。

6月6日（金）はれ

10時から定例会に提出される議案の議案説明会があるというので
出席すると、あっという間の説明で終了。もう少し内容に踏み込ん
だ説明をしてほしいと思うのは、私が新人だからか？

6月4日（水）くもりのち雨

「さいたま市政令指定都市移行記念：レッズ×フェイエノールト戦」
の試合観戦に行く。さいたまスタジアムでの試合を観るのはこれが
初めてである。詳しい人に聞けば、市議会議員に配られた券はとて
も良い席なのだという。全員に配布されたため都合の悪い人が多
かったのか、議員席はガラガラであった。もったいない話である。試
合は 2-2 で引き分け。小野もケガを押して前半 17 分姿を見せてくれ
た。私は試合もさることながら、5 万 2 千人もの人がこの試合を見に
来ている事実には圧倒された。スタジアムは県の管轄だが、毎年 5
億円近い赤字を流し続けることになりそうなこの施設をどうしてい

くのかは、深刻な課題である。レッズサポーター達の熱い応援に感動しながら、頭の中では税金のことを仕切りに考えてしまう観戦となった。

6月3日（火） はれ

本日、会派の控え室の引っ越し。選挙後、新しく発足した会派とその人数に合わせて改修工事が行われており、ようやく完成した。お客様のスペースも考えれば決して広くないのかもしれないが、とても静かな落ち着いた空間で、調べものをする仕事空間としては抜群だ。国会の議員会館と違って、受付の必要もなく、来た人は自由に会派の控え室に入れるので、議会の開会中は特にこの部屋にすることが多いと思われるので、皆さんに気軽に立ち寄りいただきたいと思う。夜は、明日の「さいたま市政令指定都市移行記念：レッズ×フェイエノールト戦」を祝って、市主催のレセプションがロイヤルパインズホテルで行われた。残念ながら自分は熱狂的部類のサッカーファンとは言えないのだが、正直なところ、この手の企画が一体どんな風に行われるのかという興味から参加した。感想を一言で言えば、「もっとサッカーファンの一般市民が参加できる会にできればいいのになあ」である。肩書きのついている関係者を呼ぶ会では、会の意義が半減してしまうと感じた。

6月2日（月） はれ

前日の蕨市長選の結果が出た。7期28年続いた現職市長の再選。確かに選挙中、自転車に乗って走っていた姿を見たが、77歳には見えない元気さだった。しかし、やはり「長すぎるのでは？」と思う。今回は対立候補が4人も出てしまい、批判票の結集がはかれなかったことが、現職再選に手を貸すことになった。民主党推薦で私も応援に行った福田さんも残念であった。政治はやはり、結果を要求されるものである。「我こそは」という人が何人も手を挙げたという意味では良いことであるが、「何が本丸か」を見据えて結束できないとダメだと思ってしまう。「小異を捨て大同につく」と、言うは易く行うは難し。しかし、1億2千万人いれば1億2千万通りの考え方があって、どう「大同」が探せるかこそ、政治の仕事ではないだろうか。

6月1日（日） くもり

午後、さいたま市障害者団体協議会さんの総会とさいたま市学童保育連絡協議会さんの総会への二つに出席。いずれも挨拶で「今度、保健福祉の委員会に所属することになりました。現場の声がなくて、本当に皆さんにとって良い制度や体制を作れません。ぜひ教え

てください」という内容のお話をさせていただいた。そんなの当たり前だと言われるかも知れないが、私は原点として「現場の声」を大切にしていきたいと思う。

5月30日（金） はれ

午後、蕨市長選の福田候補の応援に入る。自分の選挙から1ヶ月半ほどが経ち、選挙テンションからは少々遠ざかっていたが、選挙事務所に行くと俄然力が湧いてきてしまう。病気か？強い日差しもなんのそので、「勝つぞ！」の一念だけになってくる。しかし、車でまわってみると蕨市の狭さを実感する。5.1平方キロしかないとのこと。合併が争点になるのも頷ける。私は現在の「何でも合併」に反対な方であるが、これだけ小さい市を効率的に運営していくのは大変なことだろうと思った。夜は先輩市議と懇談。色々意見交換をさせていただきつつ、議会のことを教えていただいた。印象に残ったのは、「合併の最大の効果があったのは議会だと思う」との一言。旧市のやり方がそれぞれ違うため、改めて自分たちの議会のやり方を見直すきっかけになり、大きく改革が進んだという。諸先輩の苦勞に思いを致しつつ、これからの挑戦がますます楽しくなった夜であった。

5月28日（水） はれ

午前中、さいたま市学童保育指導員会総会に出席。午後は市役所で調べものをしつつ、会派控え室で作業。本日、先般の黒田議員辞職に伴い、繰り上げになる森永留美子さんの当選が確定した。無所属での活動とのことだが、旧与野時代から大変真面目に議会に取り組んでいらっしゃる方との印象で、一緒にできる仕事も多いのではないかと期待している。

5月27日（火） はれ

新聞報道によれば、昨日帆足・関根（隆）両市議の自民会派離脱が決まったとのこと。帆足議員は辞職の意志も固めたという。国会でもムネオ問題の時など「離党すれば良いわけではない！」と叫びたくなることは多い。逮捕されて市議としての仕事ができないのに、歳費を受取続けるというようなことがないよう、きちんとケジメをつける必要があると思う。しかし、どうしてこうも同じ会派から選挙違反が相次ぐのだろうか。

5月26日（月） くもり時々雨

連合主催の政策研修フォーラムに参加。伊香保において泊まりがけで毎年行われている研修だという。今年も組合関係者、地方議員などで200名近い参加者のもと、開催された。連合の調査力を発揮した各種政策資料は大変参考になるものが多かった。また、参加の地方議員同士の意見交換が行えたのも有意義。そして、労働組合の今後のあり方を模索する中での「ふれあい福祉運動21」の提案は興味深いものであった。NPO活動などを通じた地域コミュニティとの関わり、支援を積極的に行っていく構想である。最終目標はかなり壮大なようなので、課題も大きいと思ったが、とにかくできることから取り組むとのことなので、期待をして見守りたいと思う。

5月18日（土） くもり

今朝は4:00に起きて、5:00過ぎに某団体主催のつり大会に参加した。選挙でお世話になった皆さまでお礼のご挨拶をさせていただいたかったし、これから皆さんのお役に立つには身近な存在である必要があると考えたからだ。しかし、会場になっていたびん沼川の堤に、たくさんのゴミが捨ててあり驚いた。見かねて掃除部隊を買って出たが、拾っても拾ってもきりがなかった。こんな風にゴミを捨てても平気になってしまった社会に、様々なひずみが出てくるのは当然と感じる。午後、枝野幸男のオープンミーティング参加。テーマは「マニフェスト」であったが、ぜひさいたま市政についても、取り組んでみたいと思った。

5月15日（木） くもり後雨

夜、党支部所属議員の懇談会。勇退する長谷川元市議の慰労と選挙報告会を兼ねた席でもあった。それぞれの選挙の勝因（5区支部は今回全勝であった！）を分析しながら、来る解散総選挙でもぜひ力を合わせなければという話になった。当たり前のことかも知れないが、今日も選挙に「奇策」はないと思った。人が人に訴える、それが選挙。まじめにコツコツと信念を伝える、これしかないのだろう。

5月14日（水） 晴れ

本日、臨時議会。政令市になって初、私にとっても初の議会。3人も逮捕者が出る中での議会であり、対応をめぐり混乱し、終了したのは日付が変わった深夜1:30すぎだった。遅くまでかかったからといって、内容が濃いというわけではない。運営には課題を感じた。しかし、辞職勧告決議か倫理決議かをめぐる各会派間のやりとりは、大変勉強になった。私自身は、タイトルは「政治倫理の確立を目指す決議」と「辞職勧告」に比べて弱い印象だが、中身にし

っかり「速やかに自らの出处進退」を明らかにすべきと書き込んである決議なので、これが全会一致で議会の意志として示せて良かったと思う。後は、これらの内容をしっかりと両容疑者がかみしめて自らの身を処することが重要である。 ああ、一票の重さよ。

4月1日（火）晴れ

今日から、さいたま市は政令市である。朝の宮原駅西口の街宣でも、第一声、そのお話をさせていただいた。街頭から繰り返しお話しているのは、次のようなことである。政令市、スタートをするだけでは、ほとんど市民の生活に変化は感じられないであろう。なぜなら、今日からさいたま市でやることになる県の部分の仕事も、最初は埼玉県のやり方とほぼ同じところからスタートするし、区も形だけで独自のことはまだできないところからのスタートであるからだ。問題は、これからなのである。県の部分の仕事も、さいたま市が独自にやったら、こんな良い施策が打てたとか、区も本当にその地区の意見を集約できるようになって初めて、政令市になって良かったという実感が持てるのだ。まさに、市が、市民が、どこまで良いものを作れるかで、政令市になって良かったとなるか否かが決まると思う。これからの政令市・さいたまに期待したい。

3月30日（日）くもり晴れ

選挙前最後の週末とあって、たくさんの方がお手伝いに来てくださった。ありがたい。久々の再会になる方もあり、ゆっくり話したいのが叶わないのだけが残念である。とうとう桜がほころんだ。この事務所は、まわりが桜に囲まれている。前は桜並木の通りだし、裏の公園にも桜がたくさんである。宮原の自治会は、桜のある街にしたいと先人が願って、植えたのだそうだ。その街作りの心意気に想いを馳せる。もっと市民が自分たちの街に愛着を持ち、自分たちで自分たちの街作りを大切にしていけるさいたま市になってほしいと、改めて桜を見て思った。

3月28日（金）くもり

とうとう、選挙本番まで1週間！票という形にどれくらいなっているのだろうかという不安と、ここまでやってきたのだからジタバタせず今までの活動を信じようと言う「まな板の鯉」心理が交錯する。そこで今日のボランティアEさんがおっしゃった。「選挙まで1週間と思うと、ワクワクしちゃうわね！盛り上がるわ！」見習わなければならない。良い意味で力を出し切るためには、盛り上がることも

大切である。

3月27日（木）晴れ

今日もとても暖かで、歩いていると汗ばむほど。午前中、元市議の方に一緒に歩いていただき、引き回しをしていただいた。一軒一軒を訪ね、活動の資料をお渡しする。元市議さんは、お一人お一人の事情をよくご存じで、「最近、ひざは大丈夫かい？」「仕事は今、どうしてるの？」と声をかけて回られる。感動した。これほど真に地域に密着するところから、初めて、市民が何を望んでいるのかが見えてくる部分があると思う。また、コミュニティーには、こういう方の存在が不可欠だと痛感した。

3月26日（水）晴れ

ぼかぼか陽気の中、伊奈の県活で行われるある団体さんの研修会にお邪魔する為、ニューシャトルに乗って出かけた。車窓から景色を眺めつつ、今になって言っても始まらないが、「やはり大宮の合併は、上尾・伊奈を含めるべきであった」と強く思った。上尾の住民投票で、僅差とはいえ、合併したくないと嫌われてしまったのだから仕方ないが、もったいなかったと思う。20年後、50年後、この合併はどう評価されていくのであろうか。いや、とにかく今の枠組みで決まった以上、この中身を充実させていくことしか方法はないのであるが。

3月25日（火）小雨

昨夏から続けてきた朝の街頭演説であるが、3月に入ってからというもの、急に現職の議員さんの皆さんも駅に立たれるようになったので、バッティングすることしばしばである。きのうも日進駅がバッティングだったので駅を変更した。今日こそはと再度日進駅に行ったが、H県議と到着が同時だったので、こちらもお互い声を出すことはやめ、お互い静かにチラシをまきましようということになった。ところが、後からやってきた新人Y氏がおもむろにマイクで街宣を開始。まさに、仁義なき闘いである。「それはないなあ」と心の中ではつぶやいたものの、色んな主張を有権者が聞ける貴重な機会、良いことではないかと目くじらを立てるのはやめる。それにしても、選挙前だけ演説する人が増えるのは、変である。さいたま市の諸課題は、4年に1度しか発生していない訳ではないのだから。

3月23日（日）晴れ

今日のプロジェクトミーティングは、第3回。初めて宮原駅前事務所で行ったところ、何名かの方が、ポスティングのチラシを見ていらしてくださった。テーマは「コミュニティーの再生」。初参加の方からは、個別テーマではなく、私の政治信念などのベーシックな部分をお話してほしかったとのご意見もいただいたので、質問に答える形でお話させていただいた。プロジェクトミーティングは、選挙の為にやっているのではなく、本当にさいたま市を皆さんと一緒に考えていく場としていきたいので、4月以降もやりますと宣言した。今後もみなさん、ぜひよろしく。小学校時代の友達まで、激励に来てくれた。嬉しい再会には、勝利の報で応えたいと思う。

3月22日（土）くもり

本日は、午後より民主党埼玉県連の定期大会。司会を務めることになったが、これまで県議さんなどがやっていらっしゃった役なので、私でできるかと緊張したが、無事終了した。党员からは、民主党の勢力が思うように拡大していないのではないかという意見が多々出され、期待に応え切れていないことを実感した。「ローマは一日にしてならず」という部分もあるのだが、とにかくコツコツと努力を重ねたい。

3月16日（日）晴れ

枝野幸男衆議院議員の街頭演説には、必ず最後に次のフレーズが入る。「政治の原点は辻説法。」街頭から直接訴えていくことがその原点だということである。私も、その思いを共有する者なので、朝の街頭活動が続けているが、実はこれ、駅を利用しない地元生活者には、その主張を聞いてもらえないよというご指摘をある方からいただいた。その方は、自転車で遊説して回ったらとアイデアを下さり、自転車をご寄付くださった。今日も、何回目かの自転車街宣を行う。すれ違う人に「こんにちは」と大きな声で挨拶。スーパー前などで、コンパクトにまとめた短い演説をしながら、北区内をまわった。その短い演説時間の間にも、チラシを配ってくれているボランティアの方に、買い物中の方たちが話しかけて下さる。区名のこと、合併して市民の声が届きにくくなったこと、今日も色々なご意見をいただいた。まさに、生の声である。

3月14日（金）晴れ

本日は、私の新しい通信の発送作業をお願いしたところ、多くの方にお手伝いいただき、訪問活動中に事務所に戻った私は、一瞬、もう選挙本番中なのではないかと一瞬錯覚するほどだった。お手伝い下さった方、ありがとうございました。

3月13日（木）

悔しいが、引いた風邪がなかなか治らない。風邪を引くのは気持ちのゆるみだと言われる。これではいけない！せっかく応援して下さい。皆さんがいるのに、本人が100%で動けないのでは、本当に申し訳ない。今朝の街頭演説もやむを得ず中止。「あいつ、さぼってけしからん」とお思いの方、すみません。現在回復に努力を傾注しており、早期復帰に向け、がんばっております。

3月8日（土）くもり

枝野幸男オープンミーティングに参加。テーマは民主党提出の予算案についてであったが、改めて、民主党の目指す地方分権の必要性と、それを実行するにあたっての、国と地方との二人三脚の重要性について痛感する機会となった。いくら国が、政権交代によって思い切った地方分権を実施できたとしても、地方にその受け皿がなくては、何の意味もなくなってしまう。その役割は重い。夜は、やはり枝野幸男とともにミニ集会に出席。10人余りの皆さんとじっくり意見交換をさせていただいた。参加者の方から「どうして普通に常識で考えたらおかしいぞってことを政治家はやるんだろう？」というご意見があった。まさにその通りである。永田町の論理になってはいけない。そして、市議会もこれは同様である。

3月2日（日）晴れ

今日は大宮駅西口のデッキ上で、「女性議員を増やそうキャンペーン」があり、私も参加してきた。私は、決して女性ということだけにこだわって政治に関わる者ではないが、女性ももっと増えることが自然な姿だと思う。そして、女性（つまり性別というシーン）に限らず、社会の中の色々な現場の人の代表が集まる場が、議会の場になってほしいと思う。若い人間も、障害を持つ人も、出身職業も様々に、自然とちょうど社会の縮図になるような議会が理想的であると思う。もちろん、選挙というルールは平等である。女性も力をつけなくてはならないのは、もちろんなのだが。

3月1日（土）くもり／雨

日中、強風にもかかわらず、ポスティングのお手伝いの皆さんに応援をいただいた。本当にありがたい。夜は、ずっと1月からボランティアで手伝ってもらっていた樋口君が大阪に帰ってしまうということで、送別会。本当にありがとう。これから某市役所職員になるという彼の素朴な質問には、いつも触発されるところが多かった。彼の存在で某市も変わっていくことだろう。楽しみである。

2月27日（木）

長年お世話になっていた歯医者さんが激励して下さるとのことで、久しぶりにお会いした。県南で開業していらっしゃる先生だが、学校の歯科検診の関係や市の保健医療の関係で、地元の市議会議員さんとも交流があるという。不勉強な議員さんが多いと嘆いていらっしゃる、実際、市議会での質問原稿をそのまま頼まれて書いたこともあるとのことで驚いた。しかし、先生からは、本当の専門分野については、寧ろ積極的に専門家の知恵を借りて、政策をたてていく必要があることも強調していらっしゃる。私はこれからの医療は、どれだけ予防医療に力を入れられるかだと思っているが、この分野についても勉強していく必要があると感じた。

2月22日（土）くもり

午後、宮原コミュニティセンターで第3回プロジェクトミーティングを行った。今回のテーマは「市民参加」。先日議会に提出された直接請求の話の皮切りに、市民が市政に参画していく為には、行政・議会・市民がそれぞれ何をしていかなければならないかについて、お話をさせていただいた。会場の皆さんからのご質問では、これからスタートする行政区に関するものが多かった。「区長の権限が大きくなると思うが、区長を市民が辞めさせる方法はあるのか？」などのご質問もいただいた。なるほど、これは調べておく必要がある。このプロジェクトミーティングは、各回ごとに折々の市政報告の他、テーマごとのお話をさせていただく形で展開させていきたいと思っているが、ゆくゆく、このミーティングの中で、一つの政策を練り上げていくといったことも面白いと思うし、大変意義あることだと思う。

2月17日（月）晴れ

今朝は土呂駅東口にて枝野幸男と街頭に立った。いつもは西口でやるのだが、某市議さんが先に始めていらしたので東口へ。やはり人通りは西口に比べ大変少ない。少々閑散とした印象の駅前広場で

ピラを配りながら、色々考えた。確かに土呂駅東口は、住宅地の広がりが見沼に阻まれるため利用者が少ないのはやむを得ないだろう。しかし、ここは市民の森への玄関口であるし、盆栽村へのアクセスポイントでもある。もっとそれらがわかりやすいように表示・アピールされ、駅前から目的地までの道が、楽しんで歩けるプロムナード的なものになったらと思う。できれば、駅前でちょっとお茶やお昼がいただけるお店もあるといい・・・。もちろん市がお店を出すことまでできる訳ではないが、市民の森・盆栽村のアピールや駅前案内の整備など、やるべきことも多いと思う。

2月16日（日）雨

本日は枝野幸男のオープンミーティングに出席。テーマが「地域主権社会への転換」ということで、枝野からの「分権」の話と共に、4月の統一地方選挙に民主党公認で闘う候補者も参加、それぞれの主張を訴えるという企画であった。枝野幸男が総支部長を務める5区支部では、県議には現職の秦さん（大宮区・定数1）、市議には現職田中さん（大宮区・定数7）、高柳さん（中央区・定数5）、そしてわたくし高木（北区・定数8）の4名が挑戦する。それぞれ短い5分のアピールタイムであったが、終了後、会場からは様々なご質問をいただいた。中でも、私も大変注目している「区民会議」への皆さんの関心が高かったことが印象的だった。何としてでも、「形だけ」の区民会議にならぬよう、中身を注視していきたい。

2月13日（木）はれ

私の政策のピラは、ボランティアの皆さんによって各戸のポストに配っていただいている。先週末と11日の祝日にも、たくさんの方が手伝って下さった。その反響であろう。ここ数日、電話やメールを通じて、何人かの方からご意見をいただいた。いずれも、それぞれの皆さんが生活の中で、直接感じていることから来るご意見で、貴重であった。政令市では特に、行政で扱える範囲が大幅に拡大する。そうなると、その現場現場から、何がどう足りなくて、市はどうすべきであるのかを伝えてもらうという要素は、今までより更に重要になってくると思う。反対意見も大歓迎。どしどし皆さんの市政へのご意見を寄せていただければと思う。

2月12日（水）くもり

さいたま市が岩槻市からの正式な合併の申し入れを受け、合併協議会設置の方針を固めた。今朝は街頭演説で、繰り返しこの話題について、訴えさせていただいた。さいたま市民にとっては、3市合併だけでも大変だったし、更に4月1日には政令市移行というこ

とでまた大変、今岩槻との合併と言われてもピンと来ないという方が正直多いのではないかと思うが、合併というのは「する」にしろ「しない」にしろ、どちらの選択も市の行く末にとって、大変大きな選択である。私はこういった問題は、特に市民全体で考えていかなければならないと思うし、また、市民は自らが考えるのに十分な情報を提供されなければならないと思う。これから設置される合併協議会の場合などを通じ、合併する場合のメリット・デメリット、或いは、合併しない場合のメリット・デメリットなど、様々なことが明らかにされていくであろう。私も街頭から皆さまにわかりやすくお伝えできるように努力したいと思う。そして、最終的には、議論が煮詰まった段階で、住民投票が行われなければならないと考えている。

2月9日（日） 晴れ

宮原2丁目自治会のお餅つき&作品展が、事務所の真裏にある自治会館で行われた。誘ってくださった方があり、寄せていただいたが、感動した。まず、人出の多さである。次に、子供の数が多かったこと。初めての人間でもすっと入っていける和やかな雰囲気、作品展への出品数の多さ、その作品の完成度の高さ、挙げたらきりが無い。コミュニティーの再生は、これからの地方行政の大きな課題である。なかなか現代では、自治会というと面倒臭がって顔を出さない、或いは入会すらしないという人が多い中で、素晴らしい。住まいのある宮原3丁目も自治会活動がさかんだ。運悪く昨年の行事にはことごとく参加できなかったのであるが、3丁目は3丁目独自に「3丁目の歴史」という本がとりまとめられたりしているほどだ。コミュニティー再生の方法としては、自治会以外の枠組みも色々模索されるべきであると思うが、おそるべし・自治会という思いを新たにしたい。

2月5日（水） 晴れ

新事務所の立ち上げから10日。連日、予想外に多くのボランティアの方々にお立ち寄りいただいている。オープン前は、正直、私もスタッフの池田も、外を回らなければならないことが多いので、常時事務所を開けておくこと自体が難しいかもしれないと思っていた。しかし、ありがたいことに、お留守番ボランティアを募集させていただいたところ、皆さんに助けていただき、土日を含めた常時オープンが可能になった上、その他にもポスティングや屋内作業をと言って、ボランティアの方が寄ってくださる。ありがたい。少し飛躍をするかもしれないが、今回の公約5つには書かなかったが、実は私がこれからの「さいたま市」に不可欠だと思っている柱がある。それは、市民との協同。市は、市民をお客様としてサービスをする時代からも更に進んで、市民の自由な活動をコーディネートする時

代に入っていくと思う。ボランティアの皆さんとの経験は、その意味でも学ぶことが多い。具体的に議会の立場で、市役所の現場を詳しく調べられるようになったら、どういうジャンルが市民ボランティア主体・行政コーディネートという形で進められる分野なのかを詳しくリストアップしていきたいと思う。

2月3日（月） 晴れ

お昼に3名の方とのミニ集会。全員さいたま市民ではあったが、住んでいる区が違った。しかし、皆さんの一致した意見は「合併して、いいことはなかった」である。具体的に一つ一つ中身を伺っていくと、やはり少しは良くなった点も出てくるのだが、「せっかく良かった〇〇がなくなってしまった」という類の旧市にあった補助金や施策がなくなったことに関する不満が大きいようだ。3市それぞれやっていたことが違うのであるから、統一するとこういった弊害はどうしても出てくる。問題は、合併効果で行政をスリムにできるか、或いは3市の共同資産を有効に活用できるかであろう。面白かったのは、旧大宮のYさんが「何でも浦和方式で大宮が植民地みたい。この合併で割を食ったのは大宮」とおっしゃったら、驚いたように旧浦和のMさんが「合併していいことがないのは、旧大宮がいい思っているからに違いないと思っていたのに、違うの？」とおっしゃったことだ。隣の芝生は青いということか。いや、しかし、現実色々な方に聞くと、やはり大宮は苦しいらしい。公共事業の受注から市役所内の事務処理の方法まで、主導権は旧浦和にあると聞く。私は、旧市がどうのといっているがみあうことには一切反対だが、余りにバランスを欠いたものはいかがかと思う。いいものはいい、悪いものは悪いの是々非々でいくべきである。せっかく良いものまで、旧市のメンツ争いの中でつぶされてしまうとしたら、誠にもったいない限りである。

2月2日（日） くもり

駅前事務所に看板取り付け。特殊な屋根の構造から、業者さんでシートを張り替えたなら40万円かかるとの見積もりだったが、W/Hさんコンビによりドイトにて資材購入、手作りでの看板完成と相成った。作業は大変だったが、材料費は2万円。立派な（かつ、どことなく手作りのぬくもりのある）ものが完成した。日々活動をしていると、元議員の方や以前選挙をかなり手伝ったことのある方にもお会いする。やはり話を聞くと、昔の飲ませ食わせが違反でなかった頃の費用はハンパではなく、20年～30年前で物価も違うであろうに、1千万や2千万かかったという話だ。これでは、私にはとうてい不可能な選挙である。私が、なんとか今までの貯金をはたくぐらいでこうした挑戦ができるのも、応援してくださる皆さんがボランティアで支えてくださり、且つ、知恵と工夫でこうして

看板まで手作りしてくださる、そうした応援があればこそである。

1月25日（土） 晴れ

本日、宮原駅前事務所オープン。ささやかな事務所開きには、本人の「ささやか」イメージを遙かに越える大勢の皆さんが集まってくださった。どなたも、本当にお世話になっている方々ばかり。ありがたい。本当にありがたい。枝野幸男代議士もかけつけてくれた。「私の事務所よりきれいで、広い(?)」の言葉には、会場から笑みも。国政で7年間勉強させていただいた経験は、何にも代え難いものがある。とにかく、選挙に勝って、議会での仕事ができるよう、まずは頑張ります。午後は、プロジェクトミーティングを盆栽四季の家で行った。こちらも、多くの方にご参加いただいた。ありがとうございました。

1月23日（木） 雪

埼玉都民という言葉があるが、私の朝の街頭演説を聞いてくださっている方々のほとんどは、仕事は東京であろう。今日は、ある労働団体さんが、こうした東京勤務のさいたま市在住者対策として、東京支部への推薦依頼に連れて行ってくださった。3カ所回ったが、外は雪、雪、雪。雪でタイヤが乱れても、満員電車で今日も通勤する皆さんの苦労を改めて思う。埼玉都民と言われる方々も、子育てするのはさいたま市。定年後を過ごすのも、さいたま市。関係ないわけではないのだ。帰って飲む水や吸う空気だって、さいたま市のもの。安全でなければ、安心してられない。

1月21日（火） 雨

地元の企業経営者さんの会合に寄せていただいた。「さいたま市の街作りについて語ろう」という設定で、活発な意見交換が行われた。土呂の方が多く、盆栽村を活かした街作りをなんとかできないかといった発言が多かった。実は、いつも「派手なハコモノより、地味でも暮らしやすさを追求」と主張している私だが、盆栽村に関しては別だ。さいたま市の誇りとして、世界に盆栽村はアピールしていくべきだと思う。盆栽美術館を作り、駐車スペースをきちんと確保、そして国内はもちろん、海外のお客様に、その魅力を知ってもらえる環境を整備すべきと思っている。この日も、土呂駅東口から盆栽村まで、花のプランターを並べてプロムナード化するなど、ほとん

ど予算をかけなくてもできる街作りがあるという案が出された。そして、私が感動したのは、ある方のこの発言。「確かに市でやってもらいたいこともある。地域が連携できなければ街なみにならない部分もある。でも、その前に、例えば自分の家の庭だけでも、通る人の為にできることがあるのではないか。だから、周りが動かないからと言って諦める前に、一人であっても私は『街作り』の為に動きたい」動けば、変わる...私の原点でもある。

1月20日（月）晴れ

選挙本番まで使っていく駅前事務所への引っ越し。ここが活動拠点になる。宮原駅東口から徒歩5分の近さなので、皆さんが気軽に立ち寄ってくださる場所になることを願う。「さいたま」変革プロジェクトの推進基地となりますように。立候補者説明会が行われる。北区の顔ぶれに新顔はいないとか。8名の定数を9名（うち新人2名）で争う模様。

1月19日（日）くもり

今羽町のある自治会のお餅つきに参加。寒い中、子供もたくさん、そして準備の皆さんも盛り上がりのお餅つきである。自治会長さんほか、参加者の皆さんにお話を聞く。やはり今羽では、道路、とりわけ通学路になっている道の狭さが問題だ。抜け道になっていて、車の通行量が多いだけに、大変危険だ。下水の整備、区画整理の問題と、基盤整備の課題が多いことを実感。都市計画では、第2種中高層住居専用地域に指定されている。北区の中でも貴重な緑をきちんと保全する計画を立てつつ、これからの発展に備える必要があると思う。

1月18日（土）晴れ

18:00より、枝野幸男新年会に出席。去年までは司会をしていた新年会だが、今年は候補者ということで、スタッフが用意してくれたコサージュをつけ、ご来場の皆さんへのご挨拶に専念をさせてもらった。毎年新年会でお会いする皆さんには感謝の気持ちでいっぱいになるが、今年は格別。ご参加の一人お一人に、これまで7年間秘書をやってきた中で枝野へのご支援を思い出し、改めて「本当にありがとうございます」と何度も心の中で繰り返した。「今日の決意表明は、勢いがあったぞ！」「とにかく、勝つのよ」...たくさん励ましの言葉をいただいた。元気が出た。とにかく明日から

もがんばろう。

1月13日（祝）・晴れ

きのうに引き続き穏やかな陽気。午前中は諸準備にあて、午後から訪問活動。経験から学ぶことは多いが、何と云っても訪問活動を続けていて学ぶのは、ぼかぼか度と訪問結果の相関関係である。やはり人間気持のいい天気の日には笑顔になるらしい。門前払いの度合いが減って「がんばってね」と声をかけていただく割合が高くなる。

今日は自宅前でお父さんに記念撮影をしてもらっている晴れ着姿の娘さんに出会った。今年の新成人は、自分たちの住んでいる街についてどんなことを思っているのだろう。彼らも未来のさいたま市の担い手であるが、彼らの未来にツケを残すような市政であってはならないと、改めて思う。

1月12日（日）・晴れ

訪問活動、朝の街頭演説、ボランティアの皆さんとの共同作業…日々活動していると、その中で、本当に感じることの多い出来事に出会う。市政への現場の声もたくさんいただく。これからは、そういう一つ一つの出来事を活動日誌に記していきたいと思う。

今日は、夕方最後にお伺いしたお宅で「何か市のことで困っていることはありませんか？」と伺うと、家の前の道路の拡張を何年もずっと陳情してきたが一向に実現されないとお話。下がらなければならぬ世帯の協力確認も取り付けた上での陳情であったが、ダメだった由。詳しく調べてみなければわからないが、改めて声をストレートに市政に反映させていく難しさを実感した。早速休み明けに、市に問い合わせしてみよう。